

コートジボワール概要



コートジボワール共和国は西アフリカの国で、アフリカ連合の一員です。国土は32万2462平方キロメートルで、北側ではマリとブルキナファソ、東側でガーナ、西側ではリベリアとギニアに国境を接しています。南側は550キロメートルに渡り大西洋に面しています。

2023年、国の人口は2930万人に上ります。その内22%の640万人が様々な国籍を有し、異なる文化が混じり合った国を形成しています。

60を超える多様な民族が共存し、それぞれの信仰から生まれた伝統文化が社会の豊かな遺産として今も息づいています。

ヤムスクロが政治的首都、アビジャンが経済的首都になります。公用語はフランス語です。使用されている通貨はCFAフラン (XOF) で、ユーロ、ドル、円と交換可能です。

コートジボワールは「アクワバ」という言葉に表される伝説的なおもてなしの心で知られています。この言葉は訪れる人々への歓迎と温かいおもてなしの精神を象徴しています。国の文化的豊かさは、芸術や音楽、料理、社会的慣習に表れています。伝統に根ざしながらも、現代へと開かれているため、アフリカにおける、調和と文化交流のモデルとなっています。



©Expo 2025

COMMONS-B PAVILION

コートジボワール館



農業知識を
創造的産業とつなぐために

展示コンセプト

2025年大阪・関西万博に参加するにあたり、コートジボワールは、特に農業部門で天然資源の持続可能な管理を可能にする革新的プロジェクトを世界と共有することを約束します。

世界のカカオ生産をリードする国としてのコートジボワールの姿を皆さまにご紹介することを、この大きな目標の中心に据えます。

2025年大阪・関西万博において、コートジボワールは、経済力、商業的な魅力、観光資源、そして文化的な豊かさを世界に向けて発信します。最新のイノベーションや産業の発展に加え、カカオから生み出される革新的なエネルギーソリューションも紹介します。「過去、現在、未来」を表現する3つのゾーンで構成されているコートジボワール館の館内では、歴史や可能性について学ぶとともに、豊かな香りを体験することも可能です。さらに、漁業と稲作分野で実を結んできたコートジボワールと日本の持続的な協力関係の成功事例も紹介します。



生活を変えるために

コートジボワールは、様々な分野の生産活動や工業プロセスに人工知能を活用し、国民の生活を豊かにする取り組みを積極的に進めています。

- ・持続可能な農業の開発
- ・クリーンエネルギーへのアクセス
- ・持続可能な雇用の創出
- ・生物多様性の保護
- ・資源の持続可能な開発に向けた教育と啓蒙



生活をつなぐために

以下の点を通じて持続可能な未来のために、社会的つながりを創造する

- ・持続可能なテクノロジーへのアクセス
- ・環境に優しいインフラ（グリーンインフラ）
- ・持続可能なネットワークとパートナーシップの創造
- ・文化交流の促進とビジネスチャンス
- ・現代的で代替可能な医学へのアクセス

優れた経済力と農業の潜在能力

コートジボワールは、優れた経済的パフォーマンスと農業分野におけるリーダーシップで、世界規模でも際立った存在となっています。国際的バリュー・チェーンにおいても主要なアクターとなっています。

2023年経済指標

- ・西アフリカ経済通貨同盟 (WAEMU) 圏内、第1位の経済力
- ・西アフリカ諸国経済共同体 (ECOWAS) 内、第2位の経済力
- ・実質GDP: 790億USD
- ・GDP成長率: 6.5%
- ・工業生産成長率: 6.1%

出典: 世界銀行、国立統計研究所

2023年農産物

農産物	世界 ランキング	アフリカ ランキング
カカオ豆	第1位	第1位
カシューナッツ	第1位	第1位
コーラナッツ	第1位	第1位
パラゴムの木	第4位	第1位
バナナ	第7位	第1位
アブラヤシ	第8位	第2位
コーヒー豆	第17位	第4位